

施工される皆様へ フェンス取扱い上の注意とお願い

■商品お受け取りの際の注意とお願い

- 商品発送の際には、ご迷惑をお掛けしないよう細心の注意を払っておりますが、作業遅れなどのトラブルを未然に防ぐためにも届いた商品の内容チェックは、受け取ってすぐに行うようにし、万一不都合がありましたら早めのご連絡をお願い致します。
- 板材は生産方式の特性上、多少の反りがある場合があります。この反りは組み立てる際に修正できますので、品質上の問題はありません。
- 品質には十分注意していますが、製造時期により質感・色差がある場合があります。また、施工後の増設などで部材の追加がある場合は、既設の部材と色差がある場合がありますので、予めご了承ください。

■保管上の注意

- 板材は①立て掛けたり、平らでない場所に置きっぱなしにした場合、②水気のある地面に直接置いた場合、③強い日ざしの当る場所に置きっぱなしにした場合、このどの場面でも同様に、反り、ねじれを発生させます。この反り、ねじれは組み立てるためにビス止めすることで解消されますので品質の面での問題はありますが、施工時に支障が出ますので、保管はコンクリート土間や枕木上等の変形が起きにくい適切な場所に保管してください。
- 高温による部材変形を防ぐため、暖房機やたき火の近くには置かないようにしてください。
- 商品の上に長時間にわたり重量物を置かないでください。

■施工上の注意

- 商品の施工については、必ず当社の取扱説明書(商品と同梱)に従ってください。
 - 特に注意していただきたい点
- ①伸縮する材料ですので、横張りタイプで板を連続して張る際は、伸びしろとして長手方向は必ず、夏季(5~9月) 施行時は6mm、その他季(10~4月) 施行時は8mmの隙間をあけてください。
 - ②横張りタイプは、板材の伸縮を吸収できるよう、8mmのビス穴をあけてください。また、ビスを締め過ぎないように、インパクトドライバーを使用する際は、打撃が作動する前に、締め付けを止めてください。
 - ③板材は真夏に於ける伸び、冬場の縮みも配慮しておく必要があります。ビス穴の外側にビスを打つと、冬場の気温が下がった状況では、縮みしろが無いために板の両端が割れる恐れがあります。夏場の伸びと冬場の縮みの両方をクリアするためには、ビスは必ずビス穴の中央に打つようにしてください。
 - ④土盛りをした軟弱な地面に独立基礎による工事をした場合には、独立基礎が傾く危険を伴います。こうした立地ではできるだけ独立基礎のサイズを大きくし、いつも以上に地面内での固定をしっかりとってください。場合によっては独立基礎ではなく、連続基礎にすることも選択肢としてください。

注意事項

- ネオカットウッドフェンス材(板材・角材)はリサイクル原料を一部使用しているため、色の濃淡や色調変化など、個体差がある場合があります。また、アイボリーは薄い色の特性上、経年変化による色の濃淡の変化が出る場合があります。

ACCESSORY

アクセサリ

D2タイプ/M2タイプの90角ポール材
ネオカットウッドアクセントポール

製品をご使用いただく皆様へ
使用上の注意、お手入れ方法
商品保証について

